



犬山
つが お かのん
継鹿尾観音
寂光院

新 聖 徳 殿 落 慶

旧聖徳殿は大正10年（1921）、「聖徳太子御遠忌1300年」を記念して建立されました。

「聖徳太子御遠忌1400年」を迎えた令和3年（2021）、愛知県崖条例に従い解体・再建が発願され、令和7年2月22日竣工式挙行、引き続いて5月22日落慶法要が厳修されました。



百年前の聖徳殿を伝承

新聖徳殿は新たに再建されましたが、正面の仏殿は旧聖徳殿からの移築。御本尊聖徳太子・お祖師像、豪華絢爛の「飛天の欄間」は解体修復並びに彩色を施しましたので新しく見えますがすべて開創当時のものです。百年前の法隆寺・四天王寺管長揮毫の大額・吉田初三郎「継鹿尾山図」（犬山市指定文化財）、「六波羅蜜」の六額すべてをご覧戴けます。



当寂光院は千手観音様をご本尊とする尾張の最古刹でございます。真言宗智山派に属し、総本山は京都東山七条にある智積院ちしゃくいんでございます。智積院のお隣に三十三間堂がございます。私は若い頃から、御本山での講義の帰り、よく三十三間堂を訪ねては、あの壮大なお堂の中の、総勢一〇〇一体（正面に千手観音坐像、左右に前後十列の階段状の壇上に等身大の千体の観音立像が整然と並ぶ）千手観音様にお会いすることが楽しみでございました。

しかし、歳を重ねて還暦を過ぎた頃でしたか、歌人・今井邦子（一八九〇～一九四八）さんが「三十三間堂」にて詠まれた



千手観音（本堂）

「観音経」では観音様は「慈悲と智慧」の眼で人々の「憂い・悲しみ・苦しみ・悩み」を観て取り、その状況に応じて、最善の方法で人々をお救い下されると説かれます

犬山・寂光院山主

松平 實胤

「立ち並ぶ 仏の姿 今見れば 皆悲しみに 耐えしみますがた」に出逢って後、はじめて千手観音様の真のお姿にふれたような気がしたものでございます。

観音様は、ありとあらゆる苦しみを経験され、その苦しみ一つずつ乗り越えられたからこそ、手を合わせて祈る私達のそれぞれの心に寄り添って下さるのだと思いました。

私も本年「傘寿」、数え八十歳を迎えました。誰にもいえない『憂い・悲しみ・苦しみ・悩み』を抱えることもございました。途方に暮れて、生きるのが嫌にな

ることもございました。毎朝本堂での勤行の最後に「天下泰平、風雨順時、五穀豊穰、万民豊楽」と千手観音様に祈るのですが、更にもう一つ、先ず「人生」という二文字を手の平に書き、「人が生きると書いて人生、生きなくてはならないのが人生、途中で止めるわけにはいきません。こんな私ですが、前向きに生き抜く勇気が戴けますように」と願ったものです。

現今の混乱の世情、世界あちこちの戦禍、気候変動に伴う自然災害を前にすれば、なおさら心が折れそうになります。そんな時には、そつと手を合わせてみてください。仏教では右の掌は仏様、左の掌は一瞬一刻変わっていく「今の私」です。

手を合わせると「今の私」に千手観音様が寄り添ってくださいます。更に、千手観音様の御真言「オン バザラ タラマ キリク」とお唱えください。御真言をお唱えする度に千手観音様が口から出ておいでになってお唱えする人をお守りくださいます。（※京都・六波羅蜜寺の「空也上人」像を思い出して下さい。「南無阿弥陀仏」の六字の名号を唱えるたびに口から阿弥陀様が出ておいでになります）私どもはとにかく、「善きことを思い、善きことを言い、善きことをする」そして、「日々是好日・感謝の日暮らし」ができたたと念じてやみません。

慶
祝

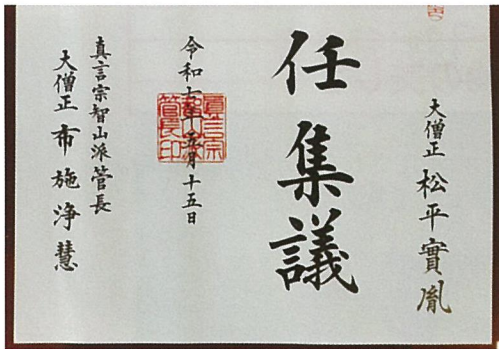
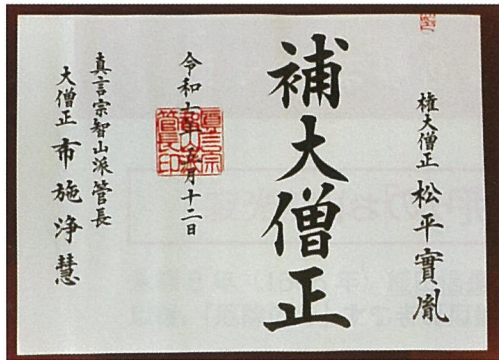
松平實胤山主

大僧正・集議しゅぎ
辞令親授式

寂光院は真言宗智山派に属します、総本山は京都東山七条の「智積院」で、千葉・成田山新勝寺、神奈川・川崎大師平間寺、東京・高尾山薬王院の三大本山をはじめとして全国に三千の末寺があります。宗祖は空海・弘法大師、開山は覚鑊・興教大師です。覚鑊上人は、空海弘法大師ご入定（八三五年）後、次第に荒れ果てていく高野山を復興、弘法大師の教えを立て直し「今弘法」と慕われ、真言宗中興の祖（興教大師）と尊ばれます。後、高野山麓の根来寺をお開きになり、更に弘法大師の教学振興に力を尽くされますが、四十九才の若さで入寂されます。この覚鑊上人の流れをくむのが後の京都の智積院（智山派）と奈良の長谷寺（豊山派）です。

覚鑊上人は、一一四三年十二月十二日、根来山円明寺西の廂に、端然と座られ、密厳浄土の中方に向かつて即身成仏の秘印を結ばれて静かに入寂されました。私たちがお参りする「興教大師像」はその時のお姿であります。さてそのあと、ご遺体は茶毘に付されますが、その茶毘所の後に建てられたのが菩提院です。覚鑊上人亡き後、毎年十二月十二日の御命日には、覚鑊上人への報恩謝徳のために、根来寺の上席の僧侶が菩提院に結衆したそうでございます。これが「菩提院結衆」の由来となっております。

現在では「菩提院結集列座」といいますと、「真言宗智山派の上席に列する」という意味で、真言宗智山派最高の名譽なことでされています。松平實胤山主は平成二十八年十二月七日「菩提院結集」に任ぜられました。令和七年五月二十六日総本山智積院におきまして布施浄慧管長猥下より、「大僧正」並びに菩提院結集上座「集議」に任ぜられました。



布施浄慧管長猥下

松平實胤 山主

東海高校第十七回（昭和四十年卒）
「傘寿の集い」

時・令和七年四月二十三日

山主・松平實胤は母校・東海高校を一九六五年卒業後、一九八六年（四十歳）の折、同期の仲間より推されて同窓会の会長に就任いたしました。以来四十年、名ばかりの会長でしたので、幹事長・事務局長・幹事の皆様が結束され「東海高校同窓会各年度」の中でも羨望の同期会でありました。本年「傘寿」を迎えるにあたり、新聖徳殿に百名余の同期の桜が集いました。先ず、既に逝きし百二十一名の追悼法要を厳修、和やかに昼席を過ごし、お互いの健康長寿を祈りつつ散会しました。

東海高校第十七回（四十年卒）物故者慰霊碑 「結」
処・寂光院駐車場脇

寂光院は「紅葉？」のお寺ではありません！

寂光院は「尾張最古刹」祈りのお山

孝徳天皇の勅願寺として白雉5年（654年）の開山です。
1370年の間、無数の人々の祈りが込められている有り難いお寺です。

寂光院は「国定公園」本物の美しさ

境内全域が「国定公園（特別保護地区）」・「名勝木曽川」に指定される風光明媚な山寺。
「春は花 夏青もみじ 秋は紅葉 冬凜として靈氣漂う」



寂光院山麓の伽藍
左は木曽川上流を
臨む

寂光院は「東海自然歩道」人気コース

東は東京・高尾山国定公園へ、西は大阪・箕面国定公園へと続く「東海自然歩道」。
寂光院は中間地点の人気コース。寂光院総門～本堂（千手観音）～（織田信長も眺めた）
絶景展望台～継鹿尾山三角点（※開門午前七時・閉門午後五時）



継鹿尾山頂
「三角点」から
寂光院山上の
伽藍を眼下に、
木曽川下流を
臨む

寂光院は「紅葉？」のお寺ではありません！

寂光院は「千手観音 霊場」 厄除開運・諸願成就

永禄8年（1565年）織田信長公参詣のみぎり、「清州城鬼門鎮護の寺」とされて以後、「厄除の寺」として「厄除開運」「諸願成就」の千手観音霊場として今に至ります。

寂光院は「大護摩祈祷」 本尊様とご結縁



「本堂の内陣」が特別に参拝ができます。

（毎月5日18日10時半）

「大護摩祈祷」も特別に参拝できます。

（毎月5日18日10時半）

一心祈願・厄除開運、当病平癒、
商売繁盛、諸願成就

寂光院は「仏教が生きるお寺」 やすらぎ法話



「やすらぎ説法」（第2日曜日11時）は、既に半世紀「松平實胤山主のライフワーク」です。

寂光院での「いかなる法要」でも、「研修会」でも、必ず「ご法話」をさせていただきます。

寂光院は「仏教を体験できるお寺」 心豊かに

静寂な山寺で お写経なさいませ！ 瞑想なさいませ！

第1・3 日曜日	11:00	月輪観（瞑想）&写経 静かな仏前で本来の自分に出会うひととき！
第2 日曜日	11:00	やすらぎ説法
第3 土曜日	13:00	写仏教室〈仏さまを描く〉 講師 前田道雄先生（中日文化センター講師）
第2・4 日曜日	10:00	お写経の集い〈般若心経を読む聞く書く〉

お写経は上記に限らずいつでもご用意しておりますのでお電話下さい（要予約）



スロープカー〈やすらぎ号〉運行十五周年

当山の本堂は継鹿尾山の中腹にあり「天空の絶景」と言われるほど木曾川を眼下にする展望台は皆様に親しまれています。しかし、本堂の千手観音様にお参りするためには山麓の山門（薬医門）から三二〇段の石段を登らねばなりません。「高齢の方」、「障害をお持ちの方」には叶わぬことでした。

そこで平成二十二年六月、長年来的懸案でありました山麓と本堂を結ぶ「スロープカー」を開設しました。バリアフリーが求められる時代に広く皆様から歓迎され、親しまれて、早十五周年を迎えます。



令和七年度 九万九千日記念慈悲行の発願

●平成二十二年六月開設以来、満十五年！

「スロープカー全面改修」事業

経年劣化のため、主要部品全面取り換え、部品全面交換、全線トロリー交換

スロープカー運行開始より十五年間、常に安全安心な乗り物として、定期点検並びに部品交換、通常点検を怠ることなく運行してまいりました。

しかし、十五年の経年劣化は避けがたく、主要部品の全面交換、トロリー設備の全面交換など、急を要する事態となりました。そこでこの度、ご参詣ご信徒の皆様への「安全安心な運行」に資する「記念慈悲行」として「スロープカー全面改修」を発願致しました。貴台の「格別の御慈悲心」をもって御信援ご協賛のほど、お願い申し上げます。

犬山寂光院 松平實胤

新・聖徳殿 建立ご志納

順不同敬称略

令和六年六月〜令和七年六月

小牧市 (株)アルヴェスタ

東海高校第十七回同窓会

名古屋市 守谷 稔

名古屋市 横井 太

一宮市 窪田 清

知立市 近藤釵一

名古屋市 成瀬節子

川辺町 重本紀年

大口町 (株)田中産業

犬山市 飯坂 正・ひさ子

犬山市 (株)イクサム

扶桑町 小西信一

犬山市 土屋春夫・尚子

東京都 圓應寺

犬山市 荒内 慎

犬山市 松浦繁明

犬山市 松浦光信

大口町 田中美枝子

春日井市 鈴木直美

一宮市 一宮市 鵜飼恵美子

可児市 喜田雅之

犬山市 久保田 求

犬山市 千田義明

各務原市 大谷昌弘

犬山市 日岡俊明・智子

犬山市 (同)みやこや

名古屋市 堀江綾子

名古屋市 村上湛雲

名古屋市 寶性院

名古屋市 妙善寺

名古屋市 瑞穂市 伊藤健・しず江

名古屋市 奈良県 玉蔵院

名古屋市 名古屋 佐藤秀樹

名古屋市 加藤裕美

名古屋市 横井耕市

名古屋市 倉本幸枝

名古屋市 中垣理一

名古屋市 田端德行

扶桑町 大口町 丹羽やえ子

扶桑町 江南市 田中幸子

扶桑町 扶桑町 小村俊一

犬山市 中島美和子

各務原市 的場君枝

扶桑町 川田克彦

犬山市 尾関立志

扶桑町 安藤正昇

扶桑町 大口市 金子忠明

令和六年度 九万九千日記念慈悲行 順不同敬称略

◎大慈悲会員

小牧市
(株)アルヴェスタ

◎慈悲会員

福玉精穀倉庫(株)
福玉(株)
福玉米粒麥(株)
福玉ロジステイクス(株)
(有)マルカメ

犬山市

(株)犬山動物総合医療センター
(福)ともいき福祉会
(株)ともいき

扶桑町

(有)米正商店

北名古屋

(株)八幡ねじ

名古屋

(株)三清社

福生院

可児市

(株)庭萬

小牧市

社本 宮明

春日井市

早矢仕鈴子

知立市

近藤 釵一

◎篤志会員

犬山市 (医)全医会 あいちせぼね病院
(株)キトウ商会

桑原木材(株)

小島鋳金工業(株)

(株)新栄工業

セング(株)

(株)タイセイ

(医)竹内整形外科クリニック

(株)東海SUNKEY

(株)はぐろ薬局

(株)名古屋モウルド

大口町 タイム技研(株)

田中産業(株)

名古屋

(株)吉香

シヤチハタ(株)

(医)高田 (株)竹中工務店 名古屋支店

中山工業(株)

名古屋鉄道(株)

宗次ホール

リテック徳倉(株)

春日井市 (株)モンシエル

一宮市 東海企業(株)

犬山市 田中 一行

扶桑町 杉浦 尚三

大口町 社本 和悦

名古屋 横井 太

名古屋 原啓印刷(株)

◎協賛会員

犬山市 赤川商店
(資)犬山衛生社

犬山建設(株)

(有)大沢瓦店

(有)大野屋

(株)タイセイ

(有)トライメディア

(有)寅屋

花の香花園

(株)本多石材店

美乃又住宅設備(資)

(同)みやこや

大口町 (株)いずみ

カームテック(株)

名古屋

三栄商事(株)

(株)坪井利三郎商店

江南市

(株)アイチケン

水戸市

(株)三愛工芸

八王子市

三伸商事(株)

犬山市

堀江 綾子

名古屋

大橋 収身

東京都

小島 康督

特別篤志玉垣 敬称略

豊田市 中川 俊治
みさ子



玉垣 順不同敬称略

多治見市 濱田敏明・房子
江南市 伊藤主税・温子
犬山市 大関美里・吉原優子

〈四季の鉢植え〉

関 市 井戸眞知子

〈蓮華〉

各務原市 二宮 愛子

寂光院友の会

千手会

心豊かに生きる喜び

皆様の御信援をお願い申し上げます

静寂な山寺で

お写経なさいませ!!

静かに瞑想なさいませ!!

きりとり線

年 月 日

電話 氏名 住所 〒

正会員 (一口三千元) 円

賛助会員 (一口三万円) 円

右申込致します

おとし

千手会申込書

きりとり線

— お出かけ案内(月例行事)仏教を体験する —

5日	10:30	なな七七月まいり だいずいぐ大随求菩薩ご縁日 大護摩祈祷、やすらぎ法話
18日	10:30	なな七七月まいり 千手観音ご縁日 大護摩祈祷、やすらぎ法話
第1・3 日曜日	11:00	月輪観(瞑想) & 写経(要予約) 静かな仏前で本来の自分に会おうひととき!
第2 日曜日	11:00	やすらぎ説法(松平實胤山主)
第2・4 日曜日	10:00	お写経の集い〈般若心経を読む聞く書く〉
第3 土曜日	13:00	写仏教室〈仏さまを描く〉 講師 前田道雄先生(中日文化センター講師)

なな七七月まいり(心を養う)

仏教では「七」という数字は「満数」といい、最高・最上を表わします。寂光院の「七七月参り」は月参りを重ねることに「最高の状態に向かう」、「願い事が成就する」という大変有り難いお参りです。お始めになりませんか。

○ 五日 健康長寿 だいずいぐ大随求菩薩縁日
○ 十八日 一心祈願 千手観世音縁日
大護摩祈祷と松平實胤山主の「やすらぎ法話」

ご縁の日がご縁日

なな七七月まいりは「月参り」です。いつでもご都合のよろしい日
がご縁の日(縁日)【七七月まいり】の受付は年中無休です。

月例大護摩祈祷〈祈りの浄火〉

毎月五日・十八日、午前十時半

●護摩木ご志納 三〇〇円

(お願いごと、お名前、お年を
護摩木にお書き下さい)

●ご祈祷志納 五、〇〇〇円以上

(大護摩礼授与・ご郵送も可)

●ご祈祷申込 当日の十時迄にFAXかお電話で



発行 継鹿尾観音 寂光院

住所 〒484-0091 愛知県犬山市継鹿尾字杉ノ段12番地 電話 0568-61-0035 FAX 0568-61-5953

〒振替 00800-4-40664 Eメール i.matsudaira@jakkoin.com

寂光院ホームページ 犬山寂光院 検索

